

事業概要シート

施策： 農地の保全と有効活用

《 》は、29年度の当初予算

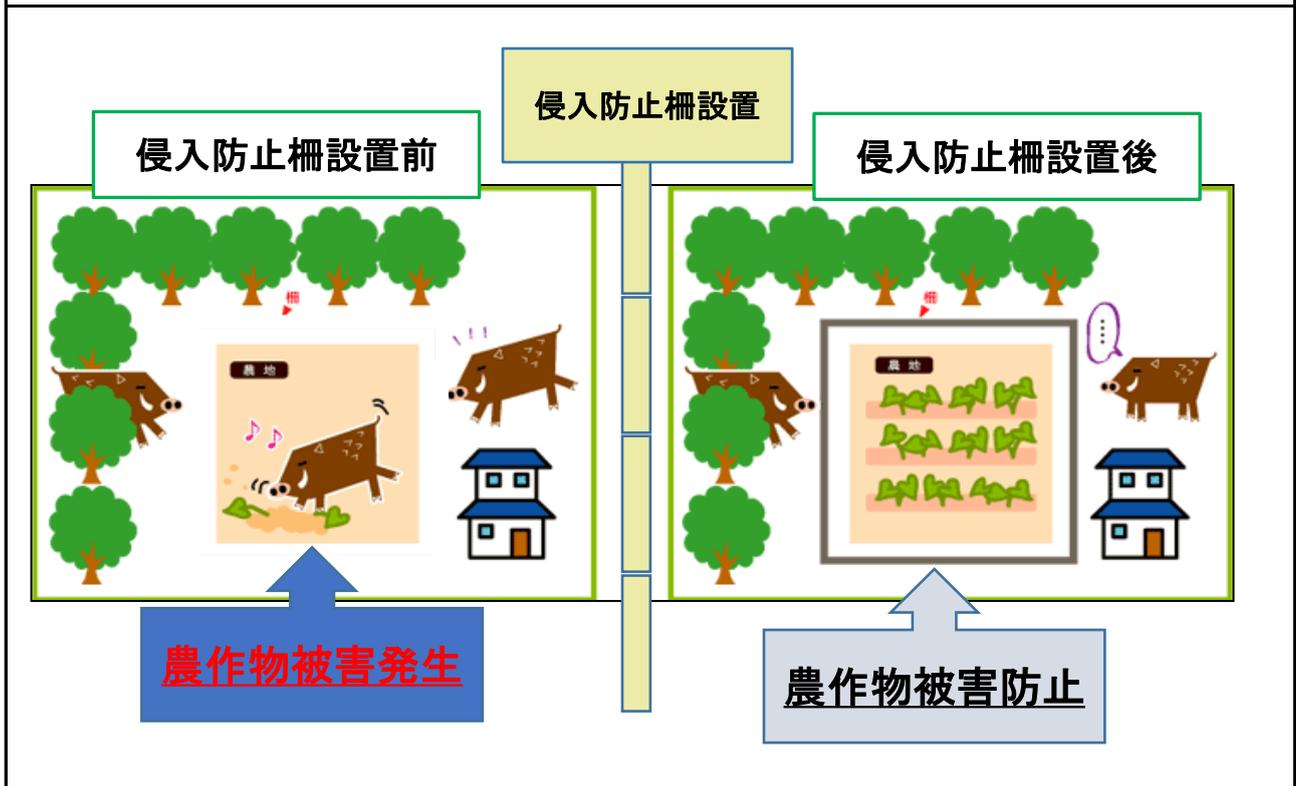
事業名： 有害鳥獣被害防止対策事業	現状維持	予算額	21,057 千円
			《 22,221 》
財源内訳		国庫支出金	15,573 千円
		県支出金	千円
		地方債	千円
		その他	千円
		一般財源	5,484 千円

【事業の目的・概要・対象】

農地や農作物に被害を与えるイノシシ等の有害鳥獣の侵入を防止するために、農地の周辺に侵入防止柵を設置し農作物被害対策を行う。
また捕獲体制の推進を目的として捕獲に関する講習会の開催及び捕獲器の購入を行い、体制の一層の推進を図る。

対象者 野生鳥獣による農作物の被害を受けている農家及び狩猟免許取得予定者

- ・ 侵入防止柵を設置し、ワイヤーメッシュ柵・電気柵の整備の経費に対して80%以内を補助する。(ハード事業)



【背景】

農作物の鳥獣対策に取り組むことで、農営対策が整い、収穫の安定につながる。
また、鳥獣被害による耕作意欲の消失等を未然に防ぎ、耕作放棄農地対策にも有効である。

担当課	産業振興部 農林水産振興課	問合せ先	0957-53-4111 (内線257)
-----	---------------	------	----------------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	受益戸数	戸	119	130	130	130	130
②							

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	農地内のイノシシの侵入防止面積	ha	47	70	70	70	70
②							

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費			12,937	22,221	21,057	21,057	77,272
国庫支出金			9,703	15,724	15,573	15,573	56,573
県支出金			0	0	0	0	0
地方債			0	0	0	0	0
その他			0	0	0	0	0
一般財源			3,234	6,497	5,484	5,484	20,699
人件費			3,894	3,894	3,894	3,894	15,576
職員			0.31人	0.31人	0.31人	0.31人	1.24人
時間外勤務			80h	80h	80h	80h	320h
嘱託員			0.80人	0.80人	0.80人	0.80人	3.20人
フルコスト	0	0	16,831	26,115	24,951	24,951	92,848

妥当性 (市の関与)	防護柵の設置は、年々伸びているが、農作物被害は増加しているため、継続して取り組む必要がある。
有効性 (施策貢献度)	防護柵の設置は、年々伸びているが、農作物被害は増加しているため、継続して取り組む必要がある。農作物の被害防止に繋がり、営農体制の整備に有効な事業である。
効率性 (コスト)	防護柵は自主設置であり、経費は資材購入費のみとなっており、最低限の経費に抑えてある。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり